

平成 24 年 5 月 9 日

## 学生の力で世界とつながろうプロジェクト

### 外から見た FUKUSHIMA、内から見た福島、君の心のふくしま

東日本大震災と原発災害によって福島は世界の「FUKUSHIMA」になりましたが、福島が被った甚大な被害や人々の日常生活が正しく伝えられておらず、被災の記憶が次第に忘れ去られてしまうという課題を抱えています。次の世代の担い手である日本と世界の学生に、福島のありのままの姿を見てもらい、一緒に復旧・復興のあり方を考えることを目的に、福島の学生が結集して、1 週間の研修ツアーを企画・実施するプロジェクトを立ち上げました。

東日本大震災及び東電福島第一原発事故により、福島は一躍世界の「FUKUSHIMA」になりました。しかし、地震、津波、原発事故、風評被害の四重の被害を被った福島の現実の一部しか、メディアによっては報じられていません。また、震災から 1 年が経過して、被災の記憶が次第に忘れ去られてしまうのではないかと懸念されています。

これから、長期間をかけて福島を復旧・復興させていくためには、次世代の担い手である学生が主体となって、福島の現実を国内外に伝えていく必要があります。

また、福島の復興を自らの問題と捉え、福島と関わりながらその復興を積極的に支援しようとする、学生を中心とした人的ネットワークを広げていくことも求められています。

そこで、福島県内の大学生が結集して、「学生の力で世界とつながろうプロジェクト」を立ち上げました。

プロジェクト実行委員会では、日本全国、世界各国の学生に福島に来てもらい、ともに生活しながら被災地をめぐり、福島のありのままの姿を知るとともに、それを伝えるための方法や福島の復旧・復興のあり方について考える、1 週間の研修ツアーを企画しています。

実行委員会では、以下の内容で実施する研修ツアーに参加する日本各地、世界各国からの学生を募集しています。多くの方々からの応募をお待ちしています！

主催：学生の力で世界とつながろう実行委員会

後援：福島大学うつくしまふくしま未来支援センター  
福島南ロータリークラブ

研修期間：2012年6月10日（日）～6月16日（土）

内容： 福島の学生による企画授業  
津波被災地域・原発事故被災地域の視察、ヒアリング、現地交流会  
「農業」、「観光業」などのテーマごとのグループワーク、成果発表会

宿泊：福島市内の旅館・宿泊施設とホームステイ

募集人員：30名（国内の学生10名、国外の学生20名）

費用： 東京駅・羽田空港・成田空港から福島までは無料送迎バスを運行します。出発地から東京駅・羽田空港・成田空港までの費用は自己負担となります。また、無料送迎バスを利用せずに福島まで来ることが可能ですが、その場合の交通費は自己負担となります。

福島滞在期間中における、食費、宿泊費、交通費、保険料については、主催者側が負担します。

応募条件： 18歳以上の学生であれば国籍は問いません

放射線値を含む福島の現状について、情報と関心を持っていること。なお研修中は、日本の法令を順守しつつ、飯舘村等計画的避難地域等を通過・立ち入ることがある。事前に、出身国の外務省等で自国政府が出す「日本渡航に関する勧告・情報」等を確認のうえ応募すること。

通訳の都合上、日本語または英語が使えること

東京駅・羽田空港・成田空港、もしくは福島まで、自己負担で来られること

「研修に参加しようと思ったきっかけ、研修に期待すること」についてのレポート（A4用紙1枚程度、日本語、英語で作成）を申込時に提出すること

申込み方法・期限：

「参加申込書」にレポート「研修に参加しようと思ったきっかけ、研修に期待すること」を添えて、5月16日(水)までに、以下のお問い合わせ先に提出してください。

申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。抽選結果については、5月18日(金)までに直接メールで連絡します。参加者には日程等の詳細を、また抽選に外れた方については、次回以降のプロジェクトをご案内させていただきます。

(お問い合わせ先)

福島大学行政政策学類内

プロジェクト実行委員会

担当：曾田めぐみ / 高畑祥史

TEL&FAX：024-548-8026

Mail：gakutsuna2012@gmail.com